

町長日誌 No.180



町長日誌の第180号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

10月17日(水) PM 1:00

あっという間に季節は「晩秋」です。上空には-3度の冷たい寒が入っているため塩狩峠などでは初雪の便りも届くようになりました。昨日(16日)は大雨による河川氾濫を想定した防災訓練を大勢の皆さんに参加して頂き実施しました。心配された台風の襲来も25号が今年最後のようで、ひとまずほっとしています。農家はトウモロコシサイレージの収穫作業が今週には終わるようですが収穫量はやはり少ないようです。一方、秋サケの水揚げは昨年よりもさらに厳しく価格も高くはないような状況です。全道ではスポット的には豊漁のところもあるようですが総じて海も山もあまり良くない平成30年になりそうです。

これから11月末まで、様々な団体の全国大会と中央要望行動が断続的に行われます。これは来年度予算確保のためのもので、現在各省庁では全国から積み上げられた新しい事業などの整理をして、政府から示されている伸び率以内に納まる来年度予算の概算要望案を作っています。これに対して全国の都道府県、市町村、各種団体は「これだけは何とかお願いしたい!」と復活に向けた強力な要望合戦が繰り広げられるのです。当然、これを受けて国会議員の先生方も様々な活動をされて12月末には来年度予算案が出来上がるのです。この状況を見ながら町では来年度の事業補助金や交付金を判断して来年度の予算編成に職員は取り組むのです。

10月9~12日(火~金)

町内北興地区で家畜排せつ物を使ったバイオガスプラントは順調に稼働しています。このプラントでは年間500頭余りの乳牛の糞尿を集めて約5千万

円の電気を北電に売電しています。現在、西興部村でも本町の2倍規模のプラントを建設中で、この施設も北電に売電をします。しかし、今年度に入ってから北電はバイオガスや風力・ソーラーなどの電力を受ける新規の契約が出来ないと表明しています。北興プラント・松村牧場・支倉牧場の町内3つのバイオガスプラントはFIT制度により1kw=39円という一般の電気代より高い価格で買い取られていますが、この制度は20年間のみで、その後は普通の価格に戻ります。なぜ北電が契約しないのかは様々な理由があるのでここでは割愛しますが、いずれにしても長期展望を考えた時には、安定した販売が出来る方法の確立が急務なのです。

そこで、今回メタンガスを生成して都市ガスに販売している神戸市の施設や工場から出る野菜くずなどをガスプラントで処理しているコープ神戸、メタンガスの液体化利用を研究している大阪大学等を視察して興部で活用できる技術の調査をしてきました。思いのほか可能性の高い手法もあり、今後関係機関と協議をしながら、実証実験などに取り組みたいと考えています。当初予定していなかったのですが、大阪にあります「あべのハルカス」を視察してきました。ハルカスは地上300mと日本一の超高層ビルで、ご存知の方も多いと思います。しかし、このビルの地下40mのところにはビル内のテナントから出る生ごみや下水道汚泥を処理しているバイオガス施設があることはあまり知られていないと思います。この施設では発生するメタンガスを使い発電やガスボイラーを稼働して施設内の一部ではありますが活用しています。このように都市部では、廃棄物の処理費が高額になることから様々な工夫をしており、バイオガス施設は決して酪農だけのものではない実態を見ることが出来ました。

10月1~5日にかけて二人の職員を地震被害のあった安平町へ災害復旧の応援職員として派遣しました。二人の役割は地震により損害を受けた家屋の被害認定調査で4人一組になって家屋の被災度合いを判定する仕事です。二人は自ら手を挙げて応募したのですが、実際に見る災害現場は報道で見ていたものと大きく異なりとても多くのことを学んで帰ってきたようです。

寒暖の差が激しくなる時期ですので風邪などひかぬようになさってください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

